

小学部 国語科 学習指導案

日 時：令和6年7月10日（水）

9：40～10：25

場 所：小学部棟 さくら組教室

対 象：Cグループ 4名

授業者：柳井 貴恵

- 1 題材名 『附特チャンネル』で、写真についての問いに応じて答えたり、経験したことがわかるように詳しく話したりして、配信用動画を撮影しよう

2 児童の実態

| 児童の実態 | |
|-------|--|
| E | <p>【一般的な実態】 CA：11</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「先生、うめ組、行ってきます」や「玄関」などと自分の行き先を1～3語程度で話す。 ・その日一番楽しかったことを尋ねると、日程ボードの授業カードを指さしたり、「朝の会、合同遊び…」などのように、日程ボードの上から順に授業カードを読み上げたりする。 <p>【指導方法に関わる実態】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文字やイラストなどで選択肢を示すと選んで答える。 ・解答の正誤を視覚的に提示すると、間違った場合にやり直すことがある。 <p><学びに向かう力・人間性等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題の量を視覚的に提示しておき、教師と一緒に繰り返し取り組むと、課題に続けて取り組むようになる。 ・はじめての活動に取り組むときや課題を終えたときに離席することがある。 <p>【本題材に関する実態】</p> <p><知識及び技能></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「だれ」「どこ」「どうする」の視点を含む言葉を伝えるとその内容に含まれる言葉のイラストカードを選び取り、対応する視点カードがある位置に分けてはることができる。 ・友だちが活動に取り組んでいる写真を提示し、その活動または場所について問うと、活動している人の名前を答える。さらに、活動に取り組んでいる人を問うと答えず、活動が止まる。 |
| F | <p>【一般的な実態】 CA：10</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「先生、Fちゃん食べてるよ」などと2～4語程度の言葉で教師に話しかける。 ・その日の楽しかったことを尋ねると、「図工、楽しかったです」などと話す。 <p>【指導方法に関わる実態】</p> <p><学びに向かう力・人間性等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師と一緒に学習に繰り返し取り組むと、その仕方で課題を進めるようになる。 ・様々な活動に自分から取り組もうとする。 ・正解が続いたり、教師が認めたりすると、次々と課題に取り組む。 ・誤答が続くと、「わからない」などと言って活動が止まることもある。 <p>【本題材に関する実態】</p> <p><知識及び技能></p> <ul style="list-style-type: none"> ・複数の人が写っている写真を見て話す内容を考えるとき、「〇〇さんがおちゃをのみました。わたしがきゅうしょくをたべました」などと、それぞれの人について「だれ」「なに」「どうする」の視点が示してあるボードに各視点の内容を書く。 <p><思考力・判断力・表現力等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分が経験したことの写真について話すとき、「赤いボールを蹴りました」や「大きな滑り台を滑りました」などと、「色」「物」「動作」や「形」「物」「動作」の視点を組み合わせて話す。 ・授業などの自分がしたことについて話すように伝えると、「お菓子屋さん」や「渡っていった」などと活動の総称や部分的な活動を答える。 |

3 題材目標

| 児童 | 題材目標 | | 学習指導要領の扱う内容 |
|----|------|--|--|
| E | 知 | 『附特チャンネル』で、配信用動画を撮影する時、問いの意味がわかり、提示した写真についての問いに対して、人や活動、場所の名称を答える | 小学部 2段階 A 聞くこと・話すこと 【知識及び技能】 ア（ウ）身近な人との会話を通して、物の名前や動作など、いろいろな言葉の種類に触れること。 【思考力・判断力・表現力等】 ウ体験したことなどについて、伝えたいことを考えること。 【学びに向かう力・人間性等】 言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする態度を養う。 |
| | 思 | 様々な写真について、場所や人、活動を答えることを求める問いに応じて答える時、問いの意味を考え、答える内容を判断し、場所や活動、人の名称を答える | |
| | 学 | 様々な写真について、場所や人、活動を答えることを求める問いに対して、正しく答える | |
| F | 知 | 『附特チャンネル』で、配信用動画を撮影する時、詳しく話すために必要な視点がわかり、自分が経験したことの写真や動画について、話す内容に含まれる視点カードを選んだ後「だれと」「なにをした」や「色」「形」「物」などを入れて話す | 小学部 3段階 A 聞くこと・話すこと 【知識及び技能】 ア（ア）身近な人との会話や読み聞かせを通して、言葉には物事の内容を表す働きがあることに気付くこと。 【思考力・判断力・表現力等】 イ経験したことを思い浮かべ、伝えたいことを考えること。 【学びに向かう力・人間性等】 言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする態度を養う。 |
| | 思 | 自分が経験した様々なことについて話す時、話したい内容について考え、詳しく話すために必要な視点を判断し、「だれと」「なにをした」「色」「形」「物」などを入れて話す | |
| | 学 | 自分が経験した様々なことについて、必要な視点を入れて詳しく話す | |

4 題材計画 ※資料末尾にA3別紙で記載




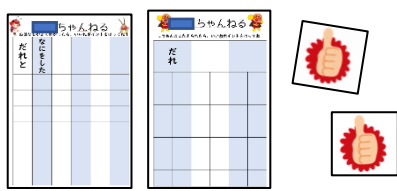
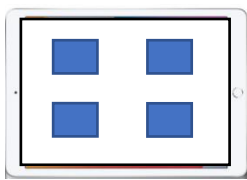
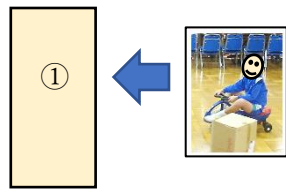
5 本時案（全8時間の3時間目）

(1) 題目 『附特チャンネル』で、写真についての問いに応じて人の名称を答えたり、経験したことがわかるように「だれと」「なにをした」などの視点を入れて話したりして、配信用動画を撮影しよう

(2) 本時のめあてと評価規準

| 児童 | 観点別の本時のめあて | | 評価規準 |
|----|------------|--|--|
| E | 知 | 『附特チャンネル』で配信用動画を撮影する時、問いの意味がわかり、提示した写真の人を答えることを求める問いに対して、人の名称を答える | 「2. 展開」場面で扱う11問中、4～11問目の8問で、写真についての問いに対して、人の名称を答える |
| | 思 | 提示した写真について、人を答えることを求める様々な問いに答える時、問いの意味を考え、答える内容を判断し、人の名称を答える | 「3. 発展」場面で扱う6問中、2～6問目の5問で写真についての問いに対して、人の名称を答える |
| | 学 | A3資料「4 題材計画」に記述した具体的な姿が見られたかどうかで題材終了後に評価を行う | |
| F | 知 | 『附特チャンネル』で、配信用動画を撮影する時、詳しく話すために必要な視点がわかり、自分が経験したことの写真や動画について、話す内容に含まれる視点カードを選んだ後「だれと」「なにをした」などを入れて話す | 「2. 展開」場面で扱う3問中、2、3問目の2問で、「だれと」「なにをした」の視点カードを選び、その視点を入れて話す |
| | 思 | 自分が経験した様々なことについて話す時、話したい内容について考え、詳しく話すために必要な視点を判断し、「だれと」「なにをした」などを入れて話す | 「3. 発展」場面で扱う3問中、1、3問目の2問で、「だれと」「なにをした」の視点を入れて話す |
| | 学 | A3資料「4 題材計画」に記述した具体的な姿が見られたかどうかで題材終了後に評価を行う | |

(3) 場面設定と準備物

| 場面設定 | | |
|---|--|---|
|  | 意図と工夫点 視点カードを操作しながら話す内容を考えられるように、Fの机のそばにホワイトボードを配置した。また、Eが自分で課題を取って来ることができるように、課題置き場と出題場所を分けて設置し、直線的な動線で結んだ。 | |
| 準備物 | | |
|  |  |  |
| 教具名 ：問いカード (E) 意図と用途 問いの言葉の意味が視覚的にわかるように、写真について問う際に提示する。 | 教具名 ：視点カード (F) 意図と用途 伝えたい内容を詳しく話すための視点を考えるために、話す内容を決めるときの選択肢として使用する。 | 教具名 ：確かめスライド 意図と用途 問いへの答えの正誤がわかるように、問いに答えた後に提示する。 |
|  |  |  |
| 教具名 ：いいねポイント・シート 意図と用途 詳しく話すよさがわかるように、話した内容に含まれる視点を確認しながらいいねポイントをはって使用する。 | 教具名 ：タブレット端末 (F) 意図と用途 伝えたいことを決められるように、自分が経験したことの複数の動画を提示するために使用する。また、配信用動画を作成するために、話している様子を撮影するときに使用する。 | 教具名 ：課題封筒 (E) 意図と用途 課題の数に見通しをもち、自分で課題を持って来ることができるように、課題を入れた封筒を順番に並べて提示しておく。 |

(4) 展開 ※資料末尾にA3別紙で記載

4 題材計画

| 児童 | | | 一次 | 二次 | | | | 三次 | | |
|----|----------|-----------------------------|--|---|--------------------------|--|---------------------------------------|-------------------------------|---|---|
| | 時数 | | 1 | 2 | 3 (本時) | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 |
| E | 知識・技能 | 場面 | 自分が見たり、経験したりしたことが聞き手によくわかるように話す活動に興味・関心や見通しをもち、本題材の課題を知る | 『附特チャンネル』で、配信用動画を撮影する時 | | | | | | / |
| | | わかること | | 問いの意味 | | | | | | |
| | できた姿 | に目を向け | がわかり | に目を向け | がわかり | 提示した写真の活動を答えることを求める問いに対して、問いカードを見て、活動の名称を答える | 活動の名称を答える | 提示した写真の場所を求める問いに対して、場所の名称を答える | | |
| | 思考・判断・表現 | 具体的状況 | 提示した写真について、人を答えることを求める様々な問いに答える時 | | 活動や人を答えることを求める問いに応じて答える時 | | 様々な写真について、場所や人、活動を答えることを求める問いに応じて答える時 | | | |
| | 表出像 | 問いの意味を考え、答える内容を判断し、人の名称を答える | | 問いの意味を考え、答える内容を判断し、活動や人の名称を答える | | 場所や活動、人の名称を答える | | | | |
| | 主体的な姿 | 粘り強さ | <input type="checkbox"/> 自分で課題を取り、出題場所へ行く展 発 <input type="checkbox"/> 写真を注視して問いを聞く展 発 <input type="checkbox"/> 学習した内容について、友だちの前で発表する終 | | | | | | | |
| | | 学習調整 | <input type="checkbox"/> すべての課題を終えるまで取り組む展 発 <input type="checkbox"/> 様々な写真について、場所や人、活動を答えることを求める問いに対して、正しく答える展 発 | | | | | | | |
| F | 知識・技能 | 場面 | 自分が見たり、経験したりしたことが聞き手によくわかるように話す活動に興味・関心や見通しをもち、本題材の課題を知る | 『附特チャンネル』で、配信用動画を撮影する時 | | | | | | / |
| | | わかること | | 詳しく話すために必要な視点 | | | | | | |
| | できた姿 | に目を向け | がわかり | 自分が経験したことの写真や動画について、話す内容に含まれる視点カードを選んだ後 | | 「色」「物」などを入れて話す | 「形」「物」などを入れて話す | | | |
| | 思考・判断・表現 | 具体的状況 | 自分が経験した様々なことについて話す時 | | | | | | | |
| | 表出像 | 「だれと」「なにをした」などを入れて話す | | 話したい内容について考え、詳しく話すために必要な視点を判断し、 | | 「だれと」「なにをした」「色」「形」「物」などを入れて話す | | | | |
| | 主体的な姿 | 粘り強さ | <input type="checkbox"/> タブレット端末を操作して、話したいことを自分で選ぶ展 発 <input type="checkbox"/> 自分から挙手をして、友だちや教師の前で話す展 発 <input type="checkbox"/> わからないときに友だちや教師に尋ねる展 発 <input type="checkbox"/> 友だちに詳しく話すための視点を伝える展 発 <input type="checkbox"/> 学習の中で話したことを友だちの前で発表したり、友だちの話を聞き、よい点やその内容に含まれる視点を伝えたりする終 | | | | | | | |
| | | 学習調整 | <input type="checkbox"/> 自分が経験した様々なことについて、必要な視点を入れて詳しく話す展 発 | | | | | | | |

※「学びに向かう力・人間性等」については、「主体的に学習に取り組む態度」の項目で観点別学習状況の評価のみを記載する。個人内評価をする部分については、授業の振り返りや個別的教育支援計画等で実施し、今後に反映することとする

(5) 展開

| 学習活動 | 教師の意図と働きかけ | |
|--|---|--|
| | E | F |
| 1. 本時の学習活動とめあてを知る。【導】 | <p>○本時の活動に見通しがもてるように、前時で自分や友だちが話した様子の動画を提示し、本時でも写真や自分が経験したことについて話し、配信用動画を撮影することを知らせる。</p> <p>○活動への意欲をもてるように、前回撮影した『附特チャンネル』を見た人からの感想の手紙や動画を提示する。</p> <p>○本時のめあてを理解できるように、本時で扱う写真や動画を示してめあてを提示する。</p> | |
| 2. 写真についての問いを聞いて人の名称を答えたり、自分が経験した伝えたい内容に含まれる視点カードを選んで話したりする。【展】 | <p>○それぞれの課題に取り組むことができるように、『附特チャンネル』の動画撮影の練習を始めることを知らせる。</p> <p>○写真についての問いに対して人の名称を答えることができるように、写真を示しながら写っている人の名称を問いかけて様子を見る。写真に写っている人の名称を答えることができた場合には、問いに正しく答えることができたことを認め、写真に写っている人を指し示したり、「だれ」の問いカードを提示したりしながら問いの意味を確かめる。</p> <p>・写真に写っている人が行っている活動を答えた場合には、問いの意味がわかるように、「だれ」の問いカードを提示して、再度人の名称を問う。</p> <p>・写真に写っている人を指さした場合には、言葉での答え方がわかるように、写真に写っている人の名称の最初の音韻を言葉で伝える。</p> <p>○自分から課題に取り組めるように、活動の開始を知らせたり、一つの課題を終えたりした後に自分から課題を取って出題場所に来た場合には、自分で取り組んでいることを認める。</p> <p>□自分で課題を取り、出題場所へ行っているか（自）</p> | <p>○話すための動画を選ぶことができるように、タブレット端末の動画を見て選ぶように伝える。</p> <p>○伝えたい内容から詳しく話すための視点に目を向けて話すことができるように、「いつ」「どこ」「だれと」「なにをした」の視点カードを提示し、伝えたい内容と対応する視点を選んで話すように伝える。「だれと」と「なにをした」の視点カードを選び、それらに含まれる内容を話した場合には、経験したことを具体的に伝えるための視点がわかっていることを認め、視点カードと話した内容を表す動画の箇所を指し示して、話した内容と視点との関係を意味づける。</p> <p>・視点カードを選ぶことに迷っている場合には、伝えたい内容と視点とが一致するように、伝えようとしている内容を短冊に書くように伝え、書いた内容の言葉と一致する視点カードを問う。</p> <p>○伝えたい内容に含まれる視点を、友だちと考えることができるように、伝えたい内容に含まれる視点について、友だちと一緒に話し合うことを知らせる。「だれと」や「なにをした」などの視点を友だちに伝えることができた場合には、友だちと一緒に視点を考えられたことを認め、そのよさを知らせる。</p> <p>□友だちに詳しく話すための視点を伝えているか（友）</p> |
| 3. 様々な問いを聞いて人の名称を答えたり、自分が経験した伝えたい内容に含まれる視点を考えて話したりして、動画を撮影する。【発】 | <p>○できるようになったことを活用し、写真についての様々な問いに答えたり、自分が経験した伝えたい内容に含まれる視点を入れて話したりして、『附特チャンネル』の動画を撮影することを伝える。</p> <p>○問い方が変わっても、写真に写っている人の名称を答えることができるように、様々な問い方で人の名称を尋ねる。写真に写っている人の名称を答えることができた場合には、問いの意味がわかっていることを認め、「だれ」の問いカードを使って、問い方が変わっても答える内容は変わらないことを伝える。</p> <p>・問いに含まれている活動の名称を答える場合には、問い方が違って答える内容は同じであることがわかるように、「だれ」の問いカードを提示しながら、再度同じ問い方で問う。</p> <p>□自分で課題を取り、撮影場所へ行っているか（自）</p> | <p>○自分が経験した様々なことについて、伝えたい内容に含まれる視点を入れて話すことができるように、動画について詳しく話すように伝えて様子を見る。友だちと一緒に活動している動画について、「だれ」と「何をした」の視点を入れて話した場合には、伝えたい内容を具体的に話せたことを認め、そのよさを意味づける。</p> <p>○友だち同士で課題についての理解を深めることができるように、友だちが話した内容に含まれていた視点について問う。友だちが話した内容に含まれる視点を友だちに伝えることができた場合には、友だちの話に傾聴したり、自分の考えを伝えたりしたことを認め、そのよさを知らせる。</p> <p>□友だちに詳しく話すための視点を伝えているか（友）</p> |
| 4. 本時の成果を振り返り、次時への意欲をもつ。【終】 | <p>○本時で学習したことを振り返ることができるように、動画を見たり、その内容について友だちの前で発表したりすることを知らせ、本時でできるようになったことを確かめながら認める。</p> <p>○本時で学習したことについての理解を深めることができるように、友だちの前で問いに答えることを伝え、問いに対して答えることができた場合には、問いの意味を理解できたことを認める。</p> <p>○本時で学習したことを振り返り、次時への見通しや意欲をもつことができるように、『附特チャンネル』で撮影した動画を提示し、次回も相手に伝わるように話す学習に取り組むことを伝え、本時を終える。</p> <p>□学習した内容について、友だちの前で発表しているか（振）</p> | <p>○本時で学習したことについての理解を深めることができるように、伝えたい内容に含まれる視点を入れて話すように伝え、「だれと」と「なにをした」の視点を入れて話した場合には、伝えたい内容とその視点との関係が理解できたことを認める。</p> <p>□学習の中で話したことを友だちの前で発表したり、友だちの話聞き、よい点やその内容に含まれる視点を伝えたりしているか（振）</p> |